T-fal

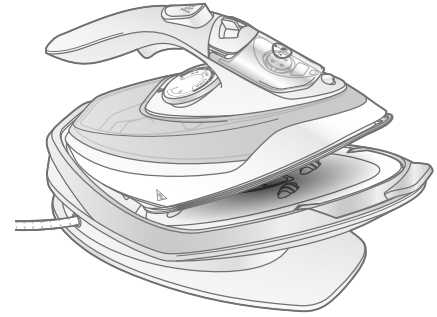
取扱説明書

ティファール コードレス スチームアイロン

フリームーブ パワー

FV66*

9100061039/01



目次

安全上のご注意 2
各部の名前とはたらき 8
絵表示の見方と温度の関係 10
衣類に表示されている取り扱い絵表示 10
温度設定目安表 11
水漏れ防止機能 12
自動オフ機能 12
ご使用の前に 13
使い方 15
スチームアイロンとして使うときは 20
ジェットスチームを使うときは 21
ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うときは 22
アイロンがけしていないときや、スチームの勢いがなくなったとき、通電ランプが赤色に点滅したときは 22
使い終わったら 24
お手入れ 26
本体のお手入れ 26
かけ面のお手入れ 26
セルフクリーニング 27
水あか防止バルブのクリーニング 30
故障かなと思ったら 32
仕様 36

※ イラストはイメージです。実際の製品と異なる場合がございます。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様相談センター　0570-077772（ナビダイヤル）受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文センター／修理センター　0570-086072（ナビダイヤル）受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

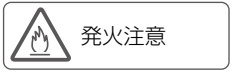
安全上のご注意

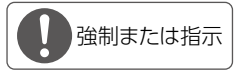
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

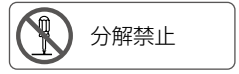
⚠ 警告 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

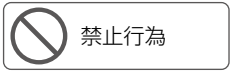
⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

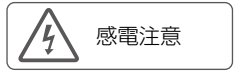
各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。

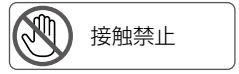

発火注意


強制または指示


分解禁止


禁止行為


感電注意


接触禁止


電源プラグをコンセントから抜く

⚠ 警告

電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する
間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。

海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない。
本製品は日本国内専用です。

ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。電源コードを束ねたまま使用しない。
発火、故障の原因になります。

使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する
ショートや発火する恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない
感電の恐れがあります。

コンセントについて
- **単独でコンセントを使用する**
- **２口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する**

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する
やけど・感電・けがをするおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。また、電源プラグを差した状態、または電源プラグを抜いてから 1 時間ほど冷ましていない状態でアイロン本体から離れない
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

給排水時は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。

人体や生き物にスチームを向けたり使用しない
やけどの原因になります。

熱いアイロンにコードを巻き付けない
ショート・発火の原因になります。

アイロンの近くで油煙やスプレーなどの可燃性ガスが発生するものを使用しない
火災や故障の原因になります。

衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけない
やけどの原因になります。

万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。また、水をこぼさないに注意する
本体下部よりあふれた水が漏れ出ることがあります。（感電の恐れあり）

ジェットスチームトリガーを連続して速くひかない
湯滴漏れによるやけどの原因になります。

高温部（本体のかけ面など）には手を触れない
やけどの恐れがあります。
また、使用中あるいは使用直後は、絶対にコードがアイロンかけ面に触れないようにしてください。

熱いスチームに触れない
やけどの原因になります。

アイロンかけの際は、アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない
湯滴が出て、やけどの原因になります。

付属品以外のベースを使用しない
火災・発火の原因になります。

安全上の注意（続き）

湿った衣類（霧吹きした衣類）は、ドライでアイロンかけをする

湿った衣類にスチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因になります。

アイロンを置くときはベースにセットし、立てて置かない

アイロンを立てて置くと倒れる恐れがあります。

アイロンは平たく安定していて熱に強い場所で使用し、アイロンをベースに置くときはベースを置く面が安定していることを確認する

アイロンがベースに完全に接続されていることを確認してから手を離す

アイロンをベースに確実にセットし、運搬時は必ず本体をベースにフックで固定する

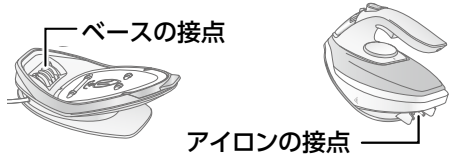
アイロン、ベースが落下してけがの原因になります。

アイロンをベースに置いたまま給水しない

- こぼれた水が熱いアイロンにかかると、熱湯が飛び散ることがあります。
- 感電やショートして発火の原因になります。

接点は磨かない

接触不良のもとになります。



かけ面をベースの面に横向きに置かない

変形・傷の原因となります。



本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのはおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。

※ スチームに触れるとやけどをする可能性があります。アイロン台のすみにアイロンをかけるときは特に注意してください。アイロンは付属のベースでのみ使用してください。

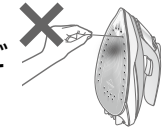
※ 本製品は必ず屋内で使用してください。

お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。

また、ベースの接点にピンや針金で触れたり、ごみを付着させないでください。

故障の原因になります。

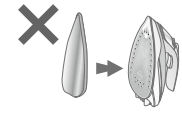


高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。

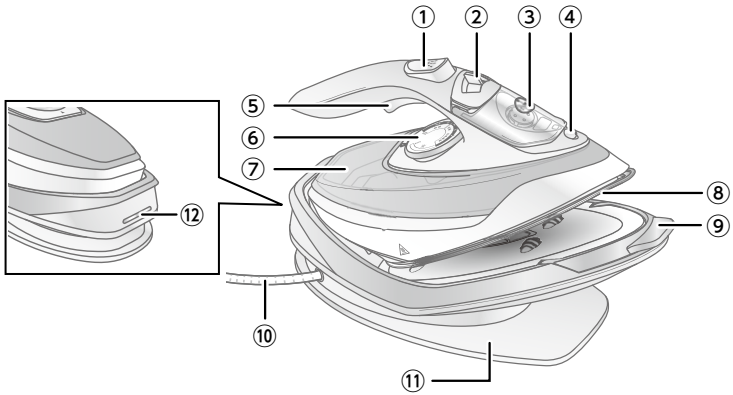
特にご注意 ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミヤなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わない。

誤動作の原因になります。



各部の名前とはたらき

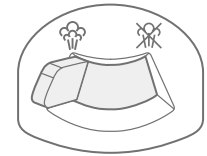


①	**ワンタッチスプレーボタン** アイロンの先端から霧状の水を出します。☞ 22 ページ
②	**スチーム切り替えレバー（水あか防止バルブ）** レバーの位置を変えることで、スチームのオン/オフを切り替えます。☞ 9・18・19 ページ また、水あか防止バルブは定期的にお手入れすることで、水あかが付くのを防ぎます。☞ 30 ページ
③	**注水口カバー** 水を入れるときに開けます。☞ 15 ページ
④	**ワンタッチスプレーノズル**
⑤	**ジェットスチームトリガー** ジェットスチームを使うときにひきます。☞ 21 ページ「ジェットスチームを使うときは」
⑥	**温度設定ダイアル** かけ面の温度を設定します。☞ 18 ページ
⑦	**水タンク**
⑧	**かけ面**
⑨	**本体固定フック**
⑩	**電源コード**
⑪	**ベース**
⑫	**通電ランプ**

スチーム切り替えレバーについて

スチームをオンにして、スチームアイロンとして使います。

スチームをオフにして、ドライアイロンとして使います。



通電ランプについて

通電ランプでベースの状態を確認することができます。

通電ランプ		製品の状態
緑色	点灯	本体が正しくベースに置かれ、給電できる状態です。温度設定ダイヤルを回し、給電を開始してください。
	点滅	自動オフ機能により、給電が止まっています。使用が終わっている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
赤色	点灯	本体がベースにセットされていない、または正しくセットされていない可能性があります。赤色に点灯する場合は、本体をセットし直し、緑色に点灯することを確認してください。
	点滅	本体がベースに 30 秒以上セットされていません。かけ面の温度が下がり、水漏れする恐れがありますので、本体をベースに戻し、給電してください。
消灯		ベースが電源に接続されていません。

絵表示の見方と温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示　（一部参考例）

繊維製品の絵表示				
衣類・布地の種類	アクリル、ナイロン、ポリエステル、ポリウレタン、アセテート等	毛・絹	麻・綿	アイロンかけはできません。
温度設定ダイアルの位置	合成繊維	毛・絹	麻・綿	
かけ面の温度※	約 85 ～ 110℃	約 115 ～ 150℃	約 155 ～ 200℃	

その他「スチーム禁止」「あて布使用」などの絵表示以外に取り扱いに関する付記表記があれば、その表示に従ってください。

※ あくまでも、かけ面の平均温度であり、状況により温度は異なります。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。
複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。
※アイロンかけの前に衣類を分けておくと能率的です。

注意　念のために衣類の目立たないところでためしがけをすることをお勧めします。

温度設定目安表

（温度設定ダイアルの位置は、繊維の種類に合わせてお使いください）

繊維の種類	温度設定ダイアルの矢印位置	スチーム切り替えレバー
合成繊維（アクリル、ナイロン、ポリエステル、ポリウレタン、アセテート等）	•	 スチームをオフにして（ドライの状態）でお使いください。
絹	••	
毛	••	
麻・綿	•••	 または  どちらでもお使いいただけます。

□：ドライゾーン　□：スチームゾーン

水漏れ防止機能

かけ面のスチーム穴からの湯滴漏れを防ぐため、かけ面が一定の温度より下回るとスチームが止まります。

お願い

- 水漏れ防止機能は、スチームアイロン使用時に働く機能で、ジェットスチーム使用時には働きません。
- 18・19 ページを参照し、ジェットスチームを使用するときは、温度設定ダイアルを「麻･綿」の位置にセットしてください。
- ジェットスチームを連続使用する際は、少なくとも 4 秒間あけてください。
  湯滴漏れの原因になります。

自動オフ機能

製品をご使用中、約 8 分間使わずに放置すると、自動オフ機能が働き、かけ面への通電が止まります。
自動オフ機能が働いても、かけ面はすぐに冷えませんので、かけ面に触れないようご注意ください。
再び使用を開始するときは、アイロンをベースから取り外した後、再度ベースに戻してください。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。アイロンを加熱する前に、かけ面にラベルが貼られている場合は剥がします。

初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。ただし、症状がひどくなる場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

タンク内部の水滴について

本製品は出荷前にスチーム噴射検査をおこなっているため、水タンク内に水滴が残っている場合がございますが、製品のご使用にはまったく問題ございません。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。
この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から粒や粉が出てくることがありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には、10 回ほどジェットスチームトリガーをひいて蒸気を出してからご使用ください。気になる場合はセルフクリーニングもおこなってください。(27 ページ)
ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

初めてアイロンをご使用になる際や、長期間スチームをご使用にならなかった場合はセルフクリーニングをおこなってください。

27 ページの「セルフクリーニング」を参照してください。

ご使用の前に（続き）

ご使用にあたっての注意事項

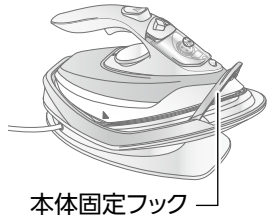
スチームアイロンには、常温の水道水をご使用ください。
スチーム穴の詰まりや布地のシミの原因になることがありますので、リネンウォーターやミネラルウォーター、その他添加剤を加えた水などは使用しないでください。

のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。
のりづけ（スプレーのりも含む）、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ（こげつき）だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

温度設定は正確にしてください。
10 ページの「絵表示の見方と温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ（こげつき）や衣類を傷める原因になります。

ドライアイロンとして使うときは、スチーム切り替えレバーを「 」にしてください。
「 」にしていると湯滴漏れの原因となり、やけどをする恐れがあります。

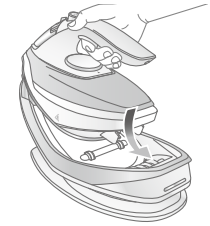
ベースを持って製品を移動する際は、必ず本体固定フックを上げてください。
本体固定フックを上げると、本体がベースに固定されます。



使い方

1 本体をベースにセットします。

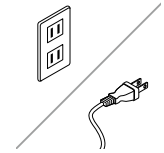
製品を使用しないときは必ずベースの上に乗せてください。



2 水タンクに水を入れます。

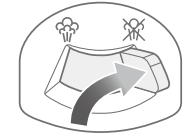
（スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合のみ）

① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。

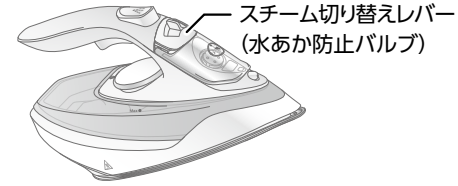


② スチーム切り替えレバーを「 」に合わせます。

※ 給排水中は「 」に合わせないと、水漏れ・湯滴漏れする原因になります。

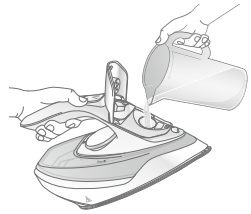


※ スチーム切り替えレバー（水あか防止バルブ）がセットされていることを必ず確認してください。

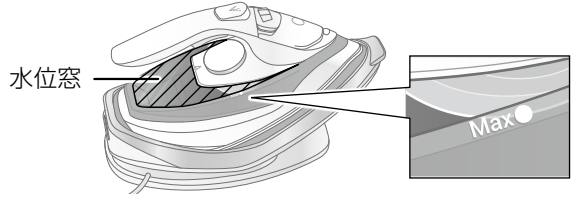


③ 本体をベースから持ち上げ、注水口カバーを開けて水タンクの Max マークまで水を入れます。

※ 電源プラグ、コード、アイロン本体に水がかからないようにご注意ください。



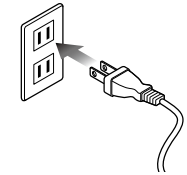
水位は透明の水位窓から確認することができます。
アイロンをベースに置いたときに、水位が Max の●マーク以上水を入れないでください。水漏れの原因になります。



④ 注水口カバーをしっかり閉めます。

⑤ 本体をベースに戻します。

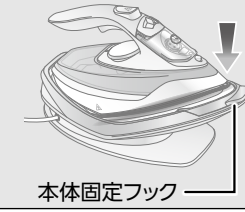
3 ベースの電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。



電源に接続すると、通電ランプが緑色に点灯します。
温度設定ダイアルを「MIN」以外にすると給電が開始されます。

注意

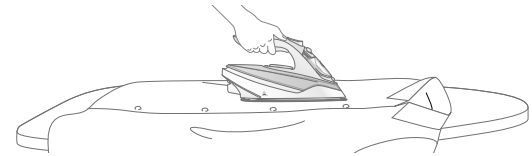
電源プラグをコンセントに差し込むときは、必ず本体固定フックを下げてください。



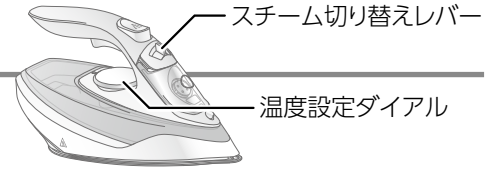
4 温度設定ダイアルを回して温度を設定します。

- 設定方法は 18 ページを参照してください。
- 本体が冷たい状態から熱する場合、温度設定ダイアルを「MIN」以外にしてから約 60 秒間待ちます。

5 約 60 秒間経ったら、本体をベースから外し、使用を開始します。

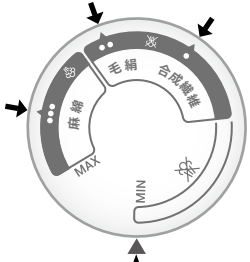
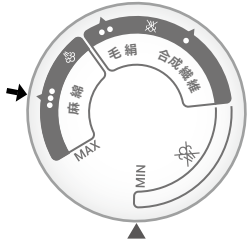


使い方（続き）

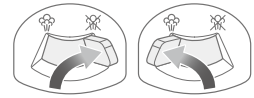
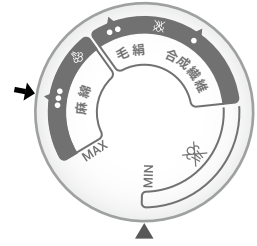


温度設定ダイアルとスチーム切り替えレバーのセット方法

温度設定ダイアルの位置は、必ず 11 ページをご覧になり、繊維の種類に合わせてお使いください。

	ドライアイロンとして使うとき	スチームアイロンとして使うとき
切り替えレバー スチーム	「 」マークに合わせます。 	「 」マークに合わせます。 合成繊維・絹には、スチームアイロンとしては使えません。 
温度設定ダイアル	「合成繊維」「毛・絹」「麻・綿」いずれかにセットします。  ▲の位置にダイアルを合わせます。	「麻・綿」の位置にセットします。 「合成繊維」または「毛・絹」にセットしていると湯滴漏れやシミの原因になります。 

注意 温度設定ダイアルを「合成繊維」にセットしたときや、11 ページ記載のドライゾーンの繊維（合成繊維、絹）にアイロンをかけるときは、スチーム切り替えレバーを必ずドライ「 」にセットしてください。セットしないと、湯滴漏れやシミ・繊維の傷みの原因になります。

ジェットスチームを使うとき
「 」・「 」マークの、いずれかに合わせます。 
「麻・綿」の位置にセットします。 「合成繊維」または「毛・絹」にセットしていると湯滴漏れやシミの原因になります。 

お願い
かけ面は熱くなりませんが、「MIN」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

■ スチームアイロンとして使うときは

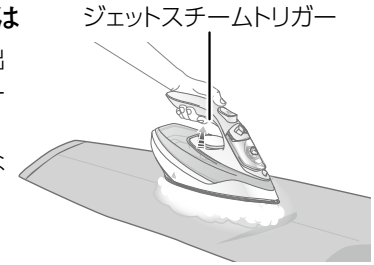
- 温度設定を必ず「麻・綿」に設定してください。
- 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
- スチームを出すときは、ベースで本体を 60 秒以上給電してから使用ください。
- アイロンがけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、再度給電してから、アイロンをかけてください。
- アイロンがけの途中で通電ランプが赤色に点滅したら、アイロンをベースに戻し、給電してください。
- スチーム量は設定温度に合わせて自動調整されます（水漏れ防止機能）。

注意

- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロン台下に体（足や太もも）がこないように注意してください。
- アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。

■ ジェットスチームを使うときは

一度にたくさんのスチームを出したいときは、ジェットスチームトリガーをひいてください。
強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。



- 温度設定を必ず「麻・綿」に設定してください。
- ジェットスチームを使うときは、水タンクに水を入れてください。
- 連続使用するときは少なくとも 4 秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。
- スチーム切り替えレバーを「 」に設定していても、水タンクに水が入っていて温度設定が「麻・綿」であれば、ジェットスチームは噴射されます。

注意

- 温度設定を「合成繊維」または「毛・絹」に設定しているときは、ジェットスチームを使用しないでください。
  湯滴漏れやシミの原因になることがあります。
- 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分に気をつけてください。

■ ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うときは

ワンタッチスプレーボタンを押すと、ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が出ます。ドライアイロンとして使用しているときでも、水タンクに水が入っていれば使えます。



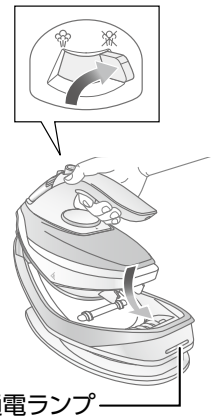
※ 使い始めは出にくいことがあります。
その場合、ワンタッチスプレーボタンを10～15回程度押してください。

注意 絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

■ アイロンがけしていないときや、スチームの勢いがなくなったとき、通電ランプが赤色に点滅したときは

ベースに戻して給電します。

- ベースに戻すときはスチーム切り替えレバーを の位置にセットしてください。
  - ※ スチームがオンになっている場合は、スチームが出ることがあります。
  - ※ 傾けたり、左右に振りながら置くと、接触不良の原因になります。
- 給電中はベースの通電ランプが緑色に点灯します。



自動オフ機能

約 8 分間使わずに放置すると自動的に給電が止まり、かけ面の温度が下がりはじめます。
自動オフの状態になると通電ランプが緑色に点滅します。
続けてお使いになる場合には、アイロンをベースから取り外した後、再度ベースに戻し、必要に応じて温度を再設定してください。
約 60 秒間給電すると使用できます。

長期間スチームをご使用にならなかったときは…

以下の手順で、スチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。

1 本体をベースにセットしたあと、温度設定を「麻・綿」に設定し、給電します。

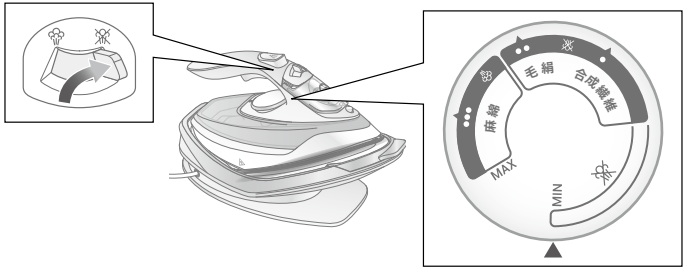
2 約 60 秒間給電したら、かけ面を下にして本体を浮かし、ジェットスチームトリガーをひいてスチームを出します。



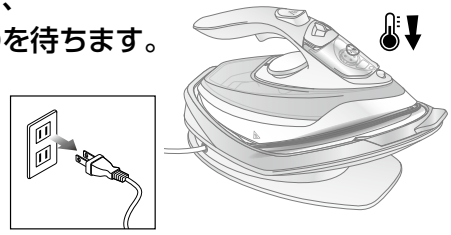
※ 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
その場合、ジェットスチームトリガーを 10 ～ 15 回程ひいてください。

使い終わったら

1 温度設定ダイアルをMINに、スチーム切り替えレバーを ※ にセットします。



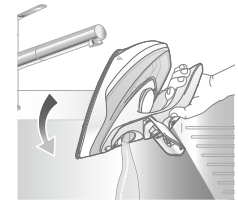
2 電源プラグを抜き、
かけ面が冷めるのを待ちます。



お願い かけ面は熱くなりませんが、「MIN」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

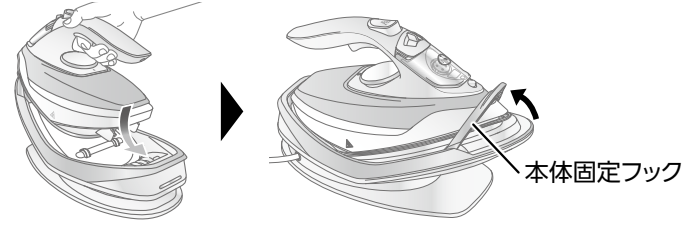
3 アイロンのかけ面が冷めたら、
水タンクの水を捨てます。

※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。



4 ベースに戻し収納します。

収納する際は必ず本体固定フックを上げ、本体をベースに固定してください。



注意
- スチーム切り替えレバーを「 ※ 」にセットしていなかったり、かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- アイロンは冷めてから保管してください。

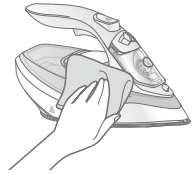
お手入れ

注意 水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

お願い
- アイロンの電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

本体のお手入れ

やわらかい布で拭いてください。
がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



かけ面のお手入れ

汚れが付いたときはすぐに取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。
また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。
かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。
頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして 1 時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

セルフクリーニング　目安：1 ヵ月に 1 回

アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングをおこなってください（使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1 ヶ月に 1 回の目安でおこなってください）。
スチーム穴の目詰まり防止に効果的です。

1 **スチーム切り替えレバーを「 ※ 」にセットします。**



2 注水口カバーを開け、水タンクの Max マークまで**水を注ぎます。**
（15 ページ「水の入れ方」参照）

3 **本体をベースに戻し、電源プラグをコンセントに差し込みます。**

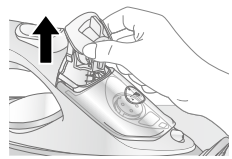
4 **温度設定ダイアルを「麻・綿」にセットします。**

5 **約60秒間給電します。**

6 **電源プラグを抜きます。**

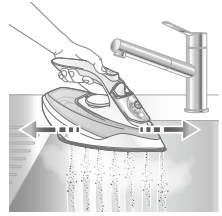
7 シンクなどの上でアイロンを水平に持ち、
スチーム切り替えレバーを持ち上げ、水あか防止バルブを抜きます。

● このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。



8 蒸気（および不純物）がスチーム穴から排水されるまで、
シンクの上でジェットスチームトリガーをひきながら、アイロンを前後に軽く振ります。

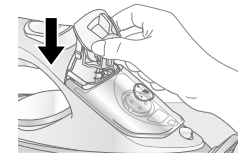
● 十分に汚れをとりたい場合は、もう 1 度繰り返します。



注意
- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。
- お湯が出た場合は、ジェットスチームトリガーを離し、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認してください。

9 十分に蒸気を排出したら、
水あか防止バルブを元の位置にセットします。

カチッと音がするまで押して固定してください。



お願い 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの後は、忘れずセットしてください。

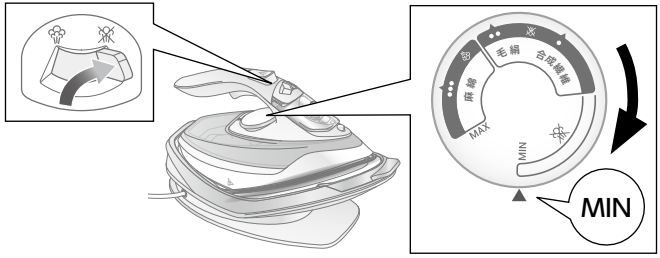
10 アイロンをベースに戻します。

11 かけ面が冷めてから、
やわらかい布でアイロンを拭きます。

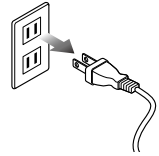
水あか防止バルブのクリーニング　目安：数ヵ月に 1 回

水あか防止バルブを数ヶ月に 1 回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

1 温度設定ダイアルを「MIN」に、スチーム切り替えレバーを「 」にセットします。

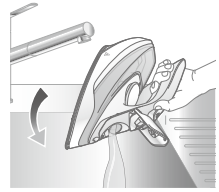


2 電源プラグをコンセントから抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

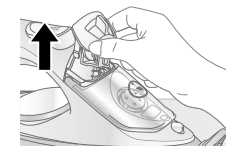


3 水タンクに入っている水を捨て、水タンクを空にします。

水が水タンクに入っている状態で 4 に進むと、かけ面から水が流れ出る場合があります。

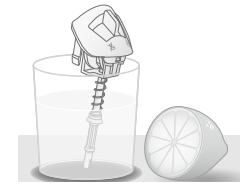


4 シンクなどの上でアイロンを水平に持ち、スチーム切り替えレバーを持ち上げ、水あか防止バルブを抜きます。



● このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。

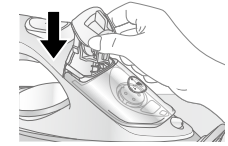
5 バルブの先端を3 ～ 5倍に薄めた酢、またはレモン汁に4時間程度浸します。



6 バルブの先端を水道水ですすぎ洗いします。

7 水あか防止バルブを本体に戻します。

カチッと音がするまで押して固定してください。



お願い　水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの際は、忘れずセットしてください。

故障かなと思ったら

状況 アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
温度設定の位置が正しくない。	温度設定ダイアルの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
きちんと電源プラグが入っていない。	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
アイロンがベースに正しくセットされていない。	アイロンをベースに正しくセットしてください（通電ランプが緑色に点灯）。
温度が設定されていない。	温度設定ダイアルを MIN 以外に設定して、約 60 秒お待ちください。

状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。
スチーム切り替えレバーがにセットされている。	スチーム切り替えレバーをにセットしてください。
水タンクが空になっている。	ベースからアイロンを外して、水タンクに水を入れてください。
かけ面の温度が低すぎる、または温まりきっていない。	アイロンがベースに正しくセットされ（通電ランプが緑色に点灯）、温度設定ダイアルが「麻・綿」に設定されていることを確認してください。 約 60 秒給電してから使用してください。

状況 水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た

考えられる原因	対処方法
水を入れすぎている。	Max マーク以上は水を入れないでください。
スチーム切り替えレバーがにセットされていない。	水タンクに水を入れるときは、スチーム切り替えレバーをに合わせてください。

状況 水が漏れる

考えられる原因	対処方法
ジェットスチームトリガーの使用回数が多すぎる。	少なくとも 4 秒間あけてご使用ください。
十分な温度になる前にスチームやジェットスチームを使用した。	アイロンがベースに正しくセットされ（通電ランプが緑色に点灯）、温度設定ダイアルが「麻・綿」に設定されていることを確認してください。 約 60 秒給電してからスチームやジェットスチームを使用してください。
水を入れすぎている。	Max マーク以上は水を入れないでください。
水タンクを空にせず保管した。	25 ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから保管してください。
注水口のふたをしっかり閉めていない。	注水口のふたは完全に閉めてください。

状況　白い粉がかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
水道水のミネラル分（カルキ等）がたまり、排出された。	10 数回ジェットスチームトリガーをひいて蒸気を出してください。

状況　スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水道水以外は使用しないでください。水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。
不適切な水を使用した。	水道水を入れてください。添加剤を含む水は使用しないでください。
繊維が、スチーム穴にたまって焦げてしまう。	湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にスチーム穴をクリーニングしてください。
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。 それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

状況　かけ面が汚れる、または茶色くなり、布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
設定温度が高すぎた。	● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● 11 ページ「温度設定目安表」を参照し絵表示に従って使用してください。
布地に洗剤やのりが残っている。	● のりを使用する場合は、あて布をしてください。（14 ページ） ● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● アイロンがけの前に洋服をしっかりと洗っていることを確認してください。

※ かけ面のお手入れについては、26 ページを参照してください。

状況　かけ面にキズがついた、または破損した

考えられる原因	対処方法
アイロンをベースに置かずに金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。	● アイロンは常にベースに置いてください。 ● ジッパー上の使用は避けてください。 ● かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	

状況　アイロンが冷たくなってしまう

考えられる原因	対処方法
アイロンをしばらくベースに置いていない。	アイロンがけ中にアイロンを使用していないとき（衣類を取り替えるときなど）は、ベースに置いて給電してください。

仕様

製品名	フリームーブ パワー
電源	100 V ～ 50-60 Hz
定格消費電力	1400W
温度ヒューズ	240℃
サイズ（cm）	（本体） 約 12.0 × 28.0 × 15.5 （本体 + ベース） 約 16.0 × 33.0 × 20.5
重量	（本体）約 960g （本体 + ベース）約 1740g
コード長さ	約 1.5m
タンク注水量	220mL

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

機能

ワンタッチスプレー（霧吹き）	●
ジェットスチーム	●
水あか防止バルブ	●
水漏れ防止機能	●
自動停止機能	●

Made in China

愛情点検	●長年ご使用のアイロンの点検を!



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ·コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ·コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常·故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検·修理をご相談ください。